

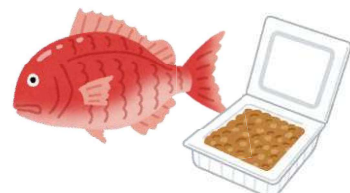
たてしん通信

015号



2月17日、優れた経営をする地域の企業をたたえ、地域経済の発展につなげようと令和4(2022)年度創設された「たてしん地域優秀企業表彰制度」の**第3回表彰式**を当金庫本店で開催しました。

受賞企業は次ページで
詳しくご紹介しています！



『千葉県マスコットキャラクター チーバくん』

『千葉県マスコットキャラクター チーバくん』



令和7(2025)年4月15日



地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/tateyama/>



ちばSDGs

ちばSDGsパートナー 933号

令和6年度 たてしん地域優秀企業表彰 受賞企業紹介

〇たてしん地域優秀企業表彰とは〇

南房総地域において、地域経済への貢献、地域活動への取組み等に顕著な功績を残した事業者等を年1回表彰し、取組みを地域内外に紹介することで、当該企業や地域のイメージ向上、地域活性化に向けた機運向上等につなげることを目的としています。

優秀大賞
地域
チャレンジ賞



株式会社まるい（館山市）

「南房総朝獲れ当日便」として、南房総エリアに加え1都3県の飲食店等に地元産の鮮魚を直送する卸売事業をはじめ、60年以上続く店舗での海産物の販売、地元でも鮮魚を楽しめる1日1組限定の直営飲食店「佐助どん」の経営、海外輸出、自社ECサイトの運営など、地域内外に対しての販売チャンネルを開拓・継続している。

また、地域内の事業者とコラボし地域食材を活かしたオリジナル商品の開発にも尽力。地域経済活性化にも貢献している。



さらに、令和4年に海外輸出向けにHACCP認定された「まるい加工センター」を新設。食品への安全衛生管理がされた加工場に効率的な冷凍技術を導入した。その安全衛生管理の取組みが評価され、令和4年度県労働基準協会連合会会長表彰において安房では唯一、衛生管理優良事業場賞を受賞した。

優秀賞
不易流行賞



株式会社三浦商店（館山市）

現在、千葉県内には納豆製造業者が2軒しかない中で、70年以上製造を続け、県内で唯一、自社工場で製造からパック詰め包装まで一貫して行っている。

全国の納豆が集まる全国納豆鑑評会では5回入賞。納豆のおいしさを追及し続けている。

千葉県内のスーパーでの販売はもちろん、小中学校での学校給食でも提供されており、日本の伝統食・納豆の変わらないおいしさを日々食卓等に届けている。

また、人気商品の「ちばの粒」は千葉県産大豆を使用しており、地産地消にも取り組む。

第22回全国納豆鑑評会表彰式
第63回全国納豆協同組合連合会 通常総会



さらに、第63・66次南極地域観測隊への商品提供をおこない、日本の伝統食を地域にとどまらず広く発信し続けている。

たてしん中小企業景況レポート No.29

令和7年(2025年) 1月～3月

編集・発行：館山信用金庫
支援部
TEL:0470-29-3015



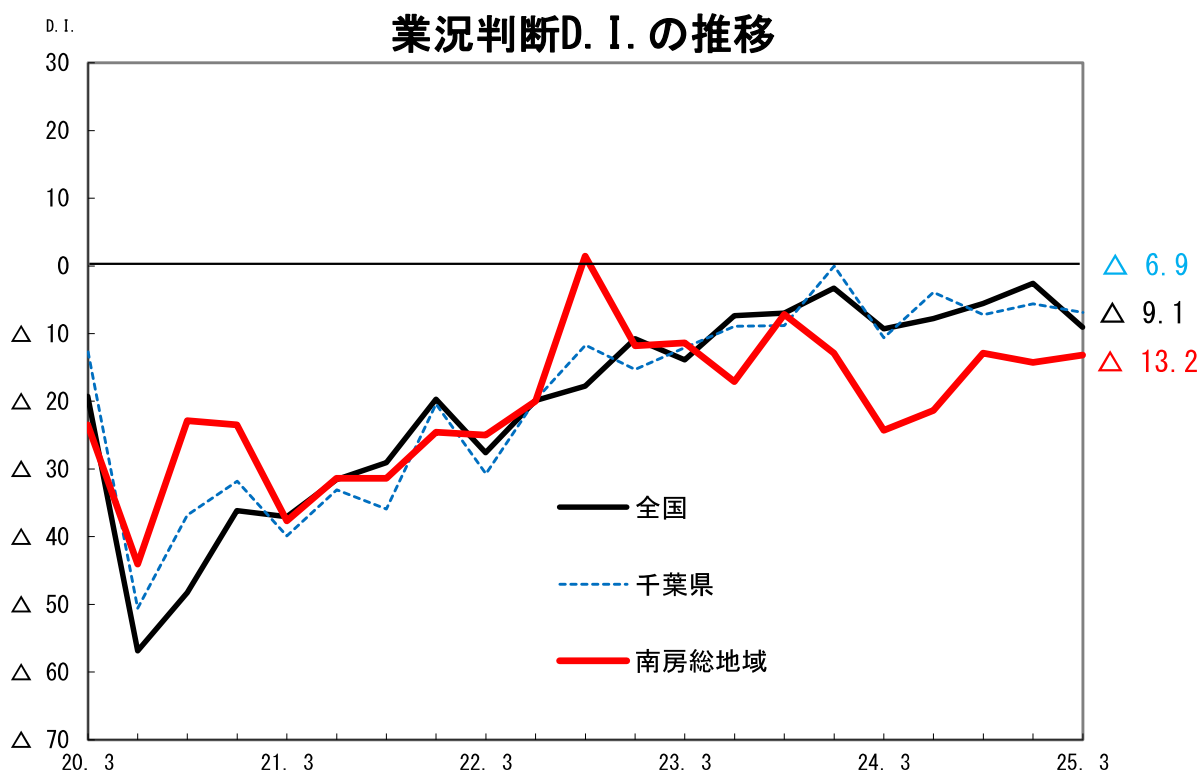
地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<概況>

令和7年(2025年)1～3月期の全国の業況判断D.I.は $\Delta 9.1$ 、前期に比べ6.5ポイントの低下となった。

なお、今回の業況判断D. I. は、前回調査時における今期見通し($\Delta 7.8$)を1.3ポイント下回った。 ※業況判断D.I. (「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合の差、プラスほど良い)

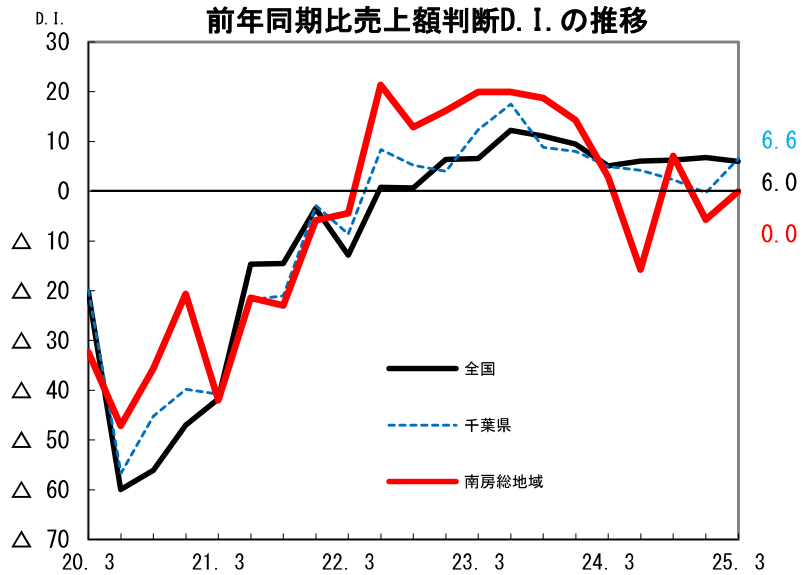


千葉県の業況判断D.I.は $\Delta 6.9$ と、前期に比べ1.3ポイントの低下となった。
南房総地域の業況判断D.I.は $\Delta 13.2$ と、前期に比べ1.1ポイントの上昇となった。

※D.I.とは、Diffusion Indexの略で企業の業況感や人員の過不足などの各種判断を指標化したものです

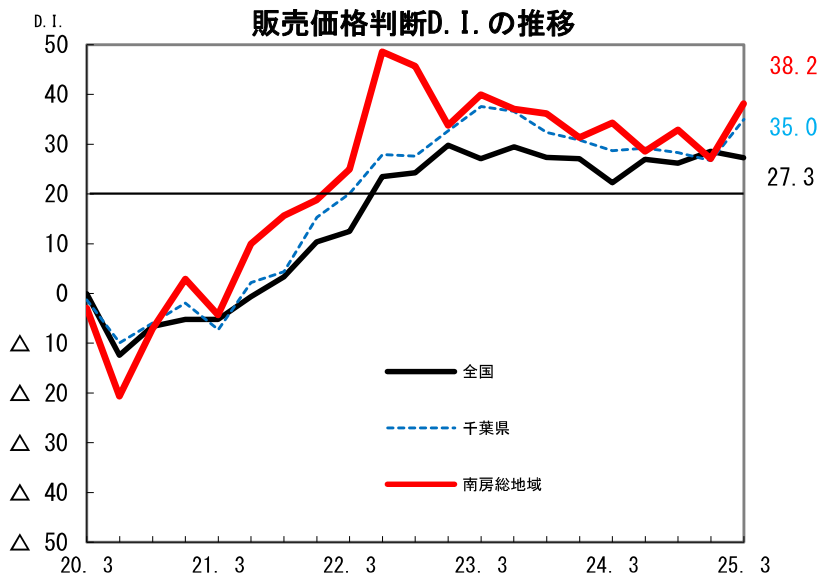
(南房総)
売上は前年同期と
変わらず

全国の前年同期比売上額判断D.I.は6.0となった。
南房総地域では、0.0となり、前年同期と同水準となった。
※売上額判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



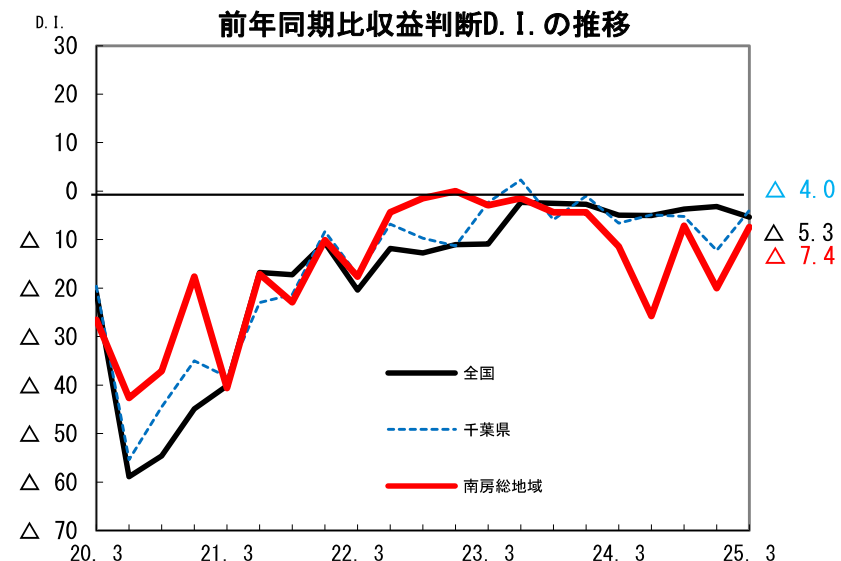
(全国・千葉・南房総)
販売価格は高水準を維持

全国の販売価格判断D.I.は27.3と前期比1.3ポイント低下したが引続き高い水準で推移している。
南房総地域では、38.2と前期比11.1ポイント増加となった。
※販売価格判断D.I.（「上がった」と回答した割合から「下がった」と回答した割合の差、プラスほど販売価格が上昇）



(全国・千葉・南房総)
収益は依然マイナス水準

全国の前年同期比収益判断D.I.は△5.3と依然としてマイナスの水準となった。
南房総地域でも、△7.4と引き続きマイナスの水準となった。
※収益判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）

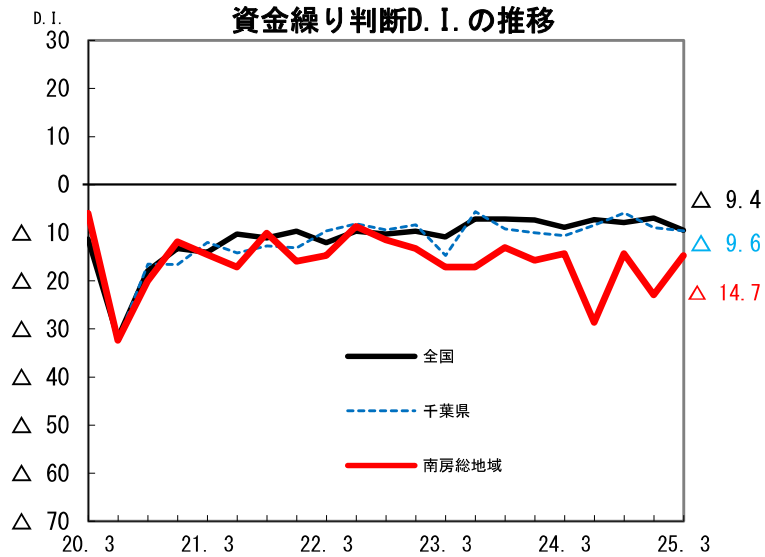


(南房総)
資金繰りは厳しい

全国の資金繰り判断D.I.は
△9.4と前期比2.5ポイント低
下となった。

南房総地域では、△14.7と
前期比8.2ポイントの改善と
なったが依然厳しい水準に
ある。

※資金繰り判断D.I.（「楽(らく)」と
回答した割合から「厳しい」と回答
した割合の差、プラスほど良い）

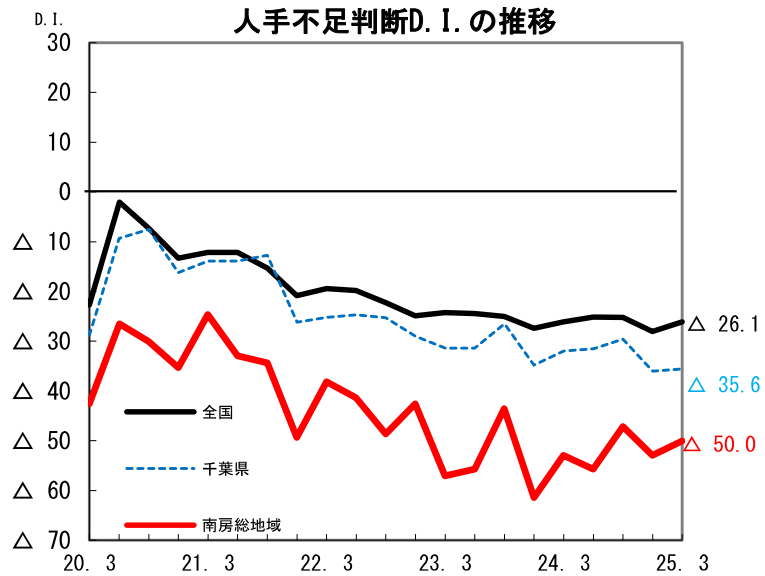


(南房総)
人手不足感は依然として強い

全国の人手過不足判断D.I.
は△26.1と前期比1.9ポイント
縮小し、ほぼ横ばい。

南房総地域は、前期比2.9
ポイント縮小の△50.0と依然
として人手不足感は強い。

※人手過不足判断D.I.（「過剰」と
回答した割合から「不足」と回答した
割合の差、マイナスほど人手不足）

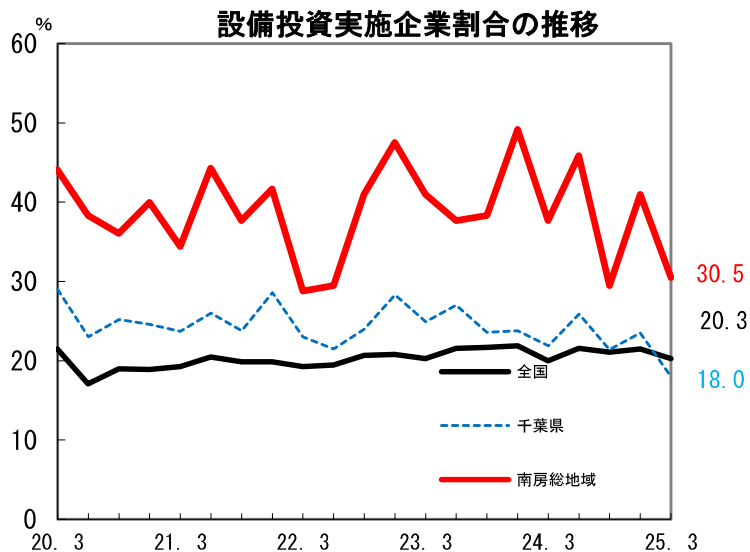


(南房総)
設備投資は前期比低下
するも依然プラス水準

全国の設備投資実施企業
割合は20.3%と前期比1.2ポ
イント低下となった。

南房総地域では30.5%と前
期比10.5ポイント低下したが、
高水準を維持している。

※設備投資実施企業割合（設備投
資を実施した企業の割合）



たてしん中小企業景況レポート No. 29 特徴等

(令和7年(2025年)1月~3月)

◆業況判断D. I. ◆

業況判断D. I. を見ると、全国では前期比6.5ポイント低下の $\Delta 9.1$ と2024年3月期以来の悪化となりました。千葉県では前期比1.3ポイント低下の $\Delta 6.9$ 、南房総地域においては $\Delta 13.2$ と前期比1.1ポイントの上昇となり、南房総地域は依然として全国・千葉県を下回る水準となっています。

全国の業種別の業況判断D. I. は、全6業種中、小幅改善した不動産を除く5業種で低下し、最も低下幅が大きかったのは卸売業($\Delta 12.2$)で、次いで小売業($\Delta 7.8$)、サービス業($\Delta 7.4$)の順となっています。

地域別の業況判断D. I. は、全11地域で低下しており、最も低下幅が大きかったのは北陸($\Delta 19.6$)で次いで北海道($\Delta 13.7$)、中国($\Delta 12.6$)、東北($\Delta 12.0$)となり、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の低下幅は $\Delta 0.1$ と全11地域中で最も小幅な低下となっています。

次期の予想業況判断D. I. を見ると、全国 $\Delta 6.4$ (今期比+2.7)、千葉県 $\Delta 10.6$ (今期比 $\Delta 3.7$)、南房総地域 $\Delta 27.9$ (今期比 $\Delta 14.7$)と、全国では今期実績比で改善を見込んでいるなか、千葉県、南房総地域は引き続き厳しい業況見通しとなっています。

◆南房総地域の業況判断D. I. (前期比) ◆

南房総地域の業況判断D. I. の業種別では、不動産業 ± 0 (前期比+33.3)、サービス業 $\Delta 7.7$ (前期比+13.7)、卸売業 $\Delta 22.2$ (前期比+7.8)、製造業 $\Delta 14.3$ (前期比+7.1)と4業種が対前期上昇するなか、建設業 $\Delta 15.4$ (前期比 $\Delta 38.5$)、小売業 $\Delta 20.0$ (前期比 $\Delta 10.0$)、と2業種が対前期低下となりました。建設業は人手不足や原材料価格の高騰の影響と推測されるほか、小売業については大手資本による出店などの影響もあると推測されます。

◆南房総地域の次期の見込み ◆

次期については、業種別では卸売業が改善を見込んでいる一方、サービス業、製造業、小売業、不動産業で低下を見込んでいます。サービス業や小売業は季節的な要因によるものと思われるなか、製造業は $\Delta 42.9$ と依然として低く、要因としては引き続き仕入価格・原材料価格の高騰や長引く人手不足の影響が推測されます。

◆売上額判断D. I. (前年同期比・南房総地域) ◆

南房総地域の売上額判断D. I. は ± 0 となりました。業種別で見ると、サービス業、小売業、建設業、製造業の4業種でプラスの水準となり、不動産業、卸売業においてマイナスの水準となりました。サービス業・小売業などは観光等の季節要因による売上増加と推察されます。

◆収益判断D. I. (前年同期比・南房総地域) ◆

南房総地域の収益判断D. I. は、前年同期比 $\Delta 7.4$ となりました。業種別で見ると、前期2024年12月期調査時は全ての業種でマイナス水準となっていたところ、サービス業、建設業においてプラス水準に転じており、価格転嫁などの動きが一部収益改善に寄与していると推測されます。

◆資金繰り判断 D. I. (南房総地域)◆

資金繰り判断 D. I. を業種別で見ると、小売業△20.0 (前期比△10.0) が悪化した以外は、サービス業△15.4 (前期比+27.5)、卸売業 11.1 (前期比+21.1) など、一部改善の動きはありますが、製造業△42.9 (前期比±0) は引続き資金繰りは苦しい状況となっています。

◆人手過不足判断 D. I. (南房総地域)・設備投資実施企業割合 (南房総地域)◆

人手過不足判断 D. I. を見ると、全国・千葉県に比べて依然として低水準で推移するなかで、今期は△50.0 (前期比+2.9) とやや改善の兆しはあるものの、業種別では全ての業種でマイナスとなっており、厳しい水準となっています。

一方、設備投資実施企業割合は 30.5 (前期比△10.5) と全国 20.3、千葉県 18.0 に比べて引き続き高水準を維持しています。

◆特別調査「外国人・海外情勢と中小企業について」◆

コロナ前と比較した外国人との接触機会については、「同水準」「わからない」がそれぞれ大きな割合を占め、全国、南房総と同程度の割合となりました。

外国向けのビジネスチャンス在今后増やす意向があるかについては、「大いにある」については全国・南房総ともに 6.1%でありましたが、「どちらかというもない」「まったくくない」の合計値は、全国が 43.0%に対し南房総が 50.0%と上回りました。

外国人の雇用の有無については、雇用している企業が全国で 19.1%となり、前回調査 (2020年3月調査、13.0%) と比較して 6.1%上昇しました。

南房総においては雇用している企業が 25.7%と全国を上回っています。

雇用している企業における、全体に占める外国人比率は「10%未満」が全国 11.6%、南房総 19.7%と全体の半分以上を占めました。

雇用していない企業における雇用していない理由については、「人手が充足しており必要ない」が全国・南房総ともに最も多く、「雇用の方法が分からない、行政手続きの負担が重い」については、全国 5.7%、南房総は 0.0%となっており、**外国人の雇用方法や手続きについては周知されている状況がうかがえます。**

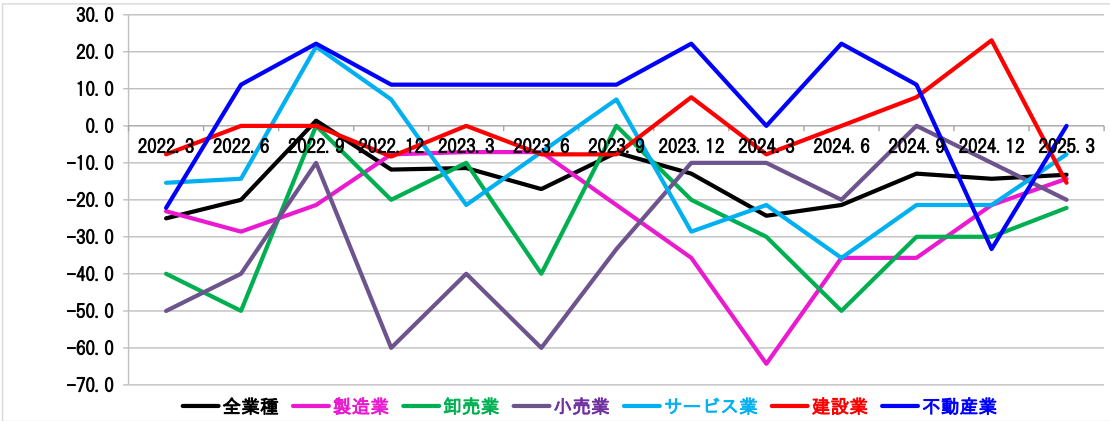
外国向けの売上 (外国人旅行客も含む) の有無については、全国 23.3%に対し南房総 34.8%となり、**インバウンドや輸出などが少ないと言われる南房総エリアにおいても外国向けの販売やサービス提供を行っている事業者が増えていることがうかがえます。**

当金庫では、地域の企業における外国人材の活用をサポートするため、信金中央金庫を介して、ベトナム大手人材送出機関の「エスハイ」やパーソルグループの「PERSOL Global Workforce(株)」との連携により、特定技能や高度人材等の外国人材の紹介を支援しています。関心のある方は当金庫営業店にお声掛けください。

※本景況レポートは、当金庫営業店ロビーの金利表示ボード画面及び房日新聞電子版 (QRコード掲載) にて動画による解説を行っております。

主要項目時系列表

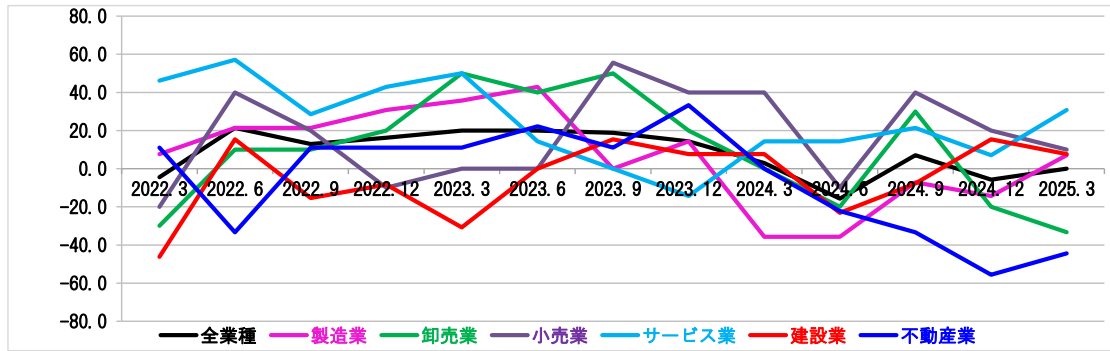
業況判断 D.I



区分	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6
全業種	-25.0	-20.0	1.4	-11.8	-11.4	-17.1	-7.2	-12.9	-24.3	-21.4	-12.9	-14.3	-13.2	-27.9
製造業	-23.3	-28.6	-21.4	-7.7	-7.1	-7.1	-21.4	-35.7	-64.3	-35.7	-35.7	-21.4	-14.3	-42.9
卸売業	-40.0	-50.0	0.0	-20.0	-10.0	-40.0	0.0	-20.0	-30.0	-50.0	-30.0	-30.0	-22.2	0.0
小売業	-50.0	-40.0	-10.0	-60.0	-40.0	-60.0	-33.3	-10.0	-10.0	-20.0	0.0	-10.0	-20.0	-40.0
サービス業	-15.4	-14.3	21.4	7.1	-21.4	-7.1	7.1	-28.6	-21.4	-35.7	-21.4	-21.4	-7.7	-46.2
建設業	-7.7	0.0	0.0	-8.3	0.0	-7.7	-7.7	7.7	-7.7	0.0	7.7	23.1	-15.4	-15.4
不動産業	-22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	-33.3	0.0	-11.1

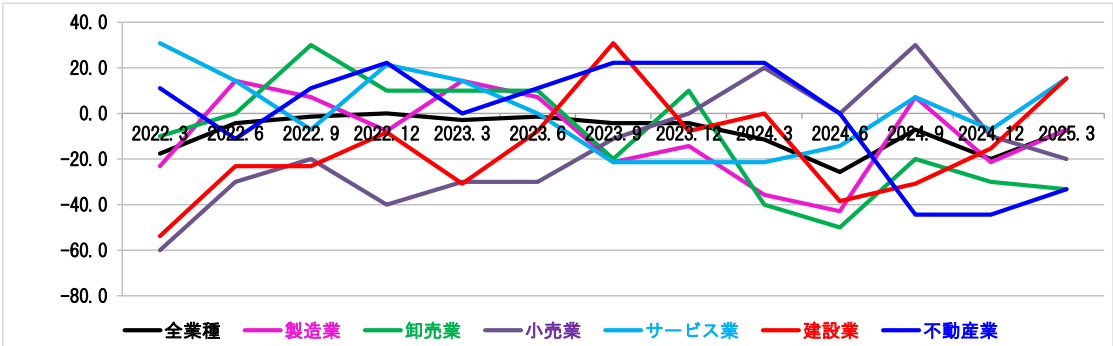
※ 2025.3は、見通しである。

売上額判断 D.I (前年同期比)



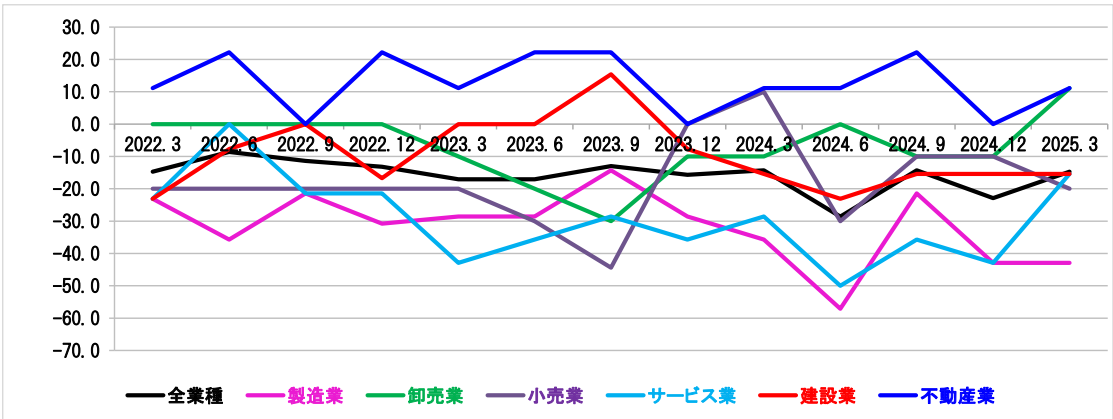
区分	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3
全業種	-4.4	21.4	12.9	16.2	20.0	20.0	18.8	14.3	2.9	-15.7	7.1	-5.7	0.0
製造業	7.1	21.4	21.4	30.8	35.7	42.9	0.0	14.3	-35.7	-35.7	-7.1	-14.3	7.1
卸売業	-30.0	10.0	10.0	20.0	50.0	40.0	50.0	20.0	0.0	-20.0	30.0	-20.0	-33.3
小売業	-20.0	40.0	20.0	-10.0	0.0	0.0	55.6	40.0	40.0	-10.0	40.0	20.0	10.0
サービス業	46.2	57.1	28.6	42.9	50.0	14.3	0.0	-14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	50.8
建設業	-46.2	15.4	-15.4	-8.3	-30.8	0.0	15.4	7.7	7.7	-23.1	-7.7	15.4	7.7
不動産業	11.1	-33.3	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0	-22.2	-33.3	-55.6	-44.4

収益判断 D.I (前年同期比)



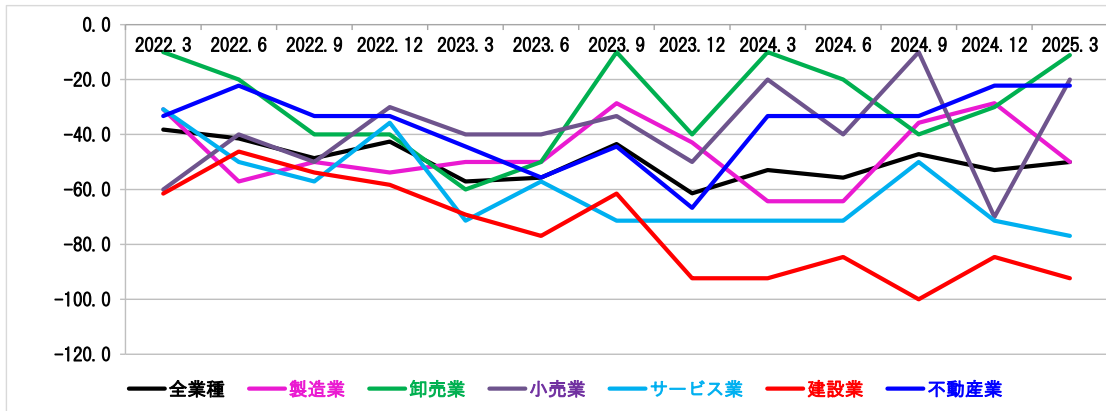
区分	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3
全業種	-17.6	-4.3	-1.4	0.0	-2.9	-1.4	-4.3	-4.3	-11.4	-25.7	-7.1	-20.0	-7.4
製造業	-23.1	14.3	7.1	-7.7	14.3	7.1	-21.4	-14.3	-35.7	-42.9	7.1	-21.4	-7.1
卸売業	-10.0	0.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-20.0	10.0	-40.0	-50.0	-20.0	-30.0	-33.3
小売業	-60.0	-30.0	-20.0	-40.0	-30.0	-30.0	-11.1	0.0	-20.0	0.0	30.0	-10.0	-20.0
サービス業	30.3	14.3	-7.1	21.4	14.3	0.0	-21.4	-21.4	-21.4	-14.3	7.1	-7.1	15.4
建設業	-53.8	-23.1	-23.1	-8.3	-30.8	-7.7	30.8	-7.7	0.0	-38.5	-30.8	-15.4	15.4
不動産業	11.1	-11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2	22.2	22.2	0.0	-44.4	-44.4	-33.3

資金繰り判断 D.I (楽-苦)



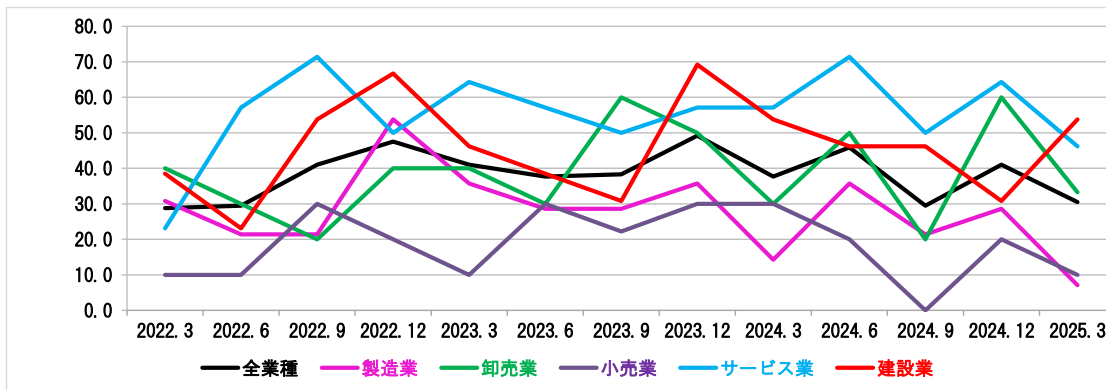
区分	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3
全業種	-14.7	-8.6	-11.4	-13.2	-17.1	-17.1	-13.0	-15.7	-14.3	-28.6	-14.3	-22.9	-14.7
製造業	-23.1	-35.7	-21.4	-30.8	-25.6	-28.6	-14.3	-28.6	-35.7	-57.1	-21.4	-42.9	-42.9
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	0.0	-10.0	-10.0	11.1
小売業	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-30.0	-44.4	0.0	10.0	-30.0	-10.0	-10.0	-20.0
サービス業	-23.1	0.0	-21.4	-21.4	-42.9	-35.7	-28.6	-35.7	-28.6	-50.0	-35.7	-42.9	-15.4
建設業	-23.1	-7.7	0.0	-16.7	0.0	0.0	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-15.4	-15.4	-15.4
不動産業	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1

人手不足判断 D.I (過剰-不足)



区分	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3
全業種	-38.2	-41.4	-48.6	-42.6	-57.1	-55.7	-43.5	-61.4	-52.9	-55.7	-47.1	-52.9	-50.0
製造業	-30.8	-57.1	-50.0	-53.8	-50.0	-50.0	-28.6	-42.9	-64.3	-64.3	-35.7	-28.6	-50.0
卸売業	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-60.0	-50.0	-10.0	-40.0	-10.0	-20.0	-40.0	-30.0	-11.1
小売業	-60.0	-40.0	-50.0	-30.0	-40.0	-40.0	-33.3	-50.0	-20.0	-40.0	-10.0	-70.0	-20.0
サービス業	-30.3	-50.0	-57.1	-35.7	-71.4	-57.1	-71.4	-71.4	-71.4	-71.4	-50.0	-71.4	-78.9
建設業	-61.5	-46.2	-53.8	-58.3	-69.2	-76.9	-61.5	-92.3	-92.3	-84.6	-100.0	-84.6	-92.3
不動産業	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-44.4	-55.6	-44.4	-66.7	-33.3	-33.3	-33.3	-22.2	-22.2

設備投資実施企業割合 (%)

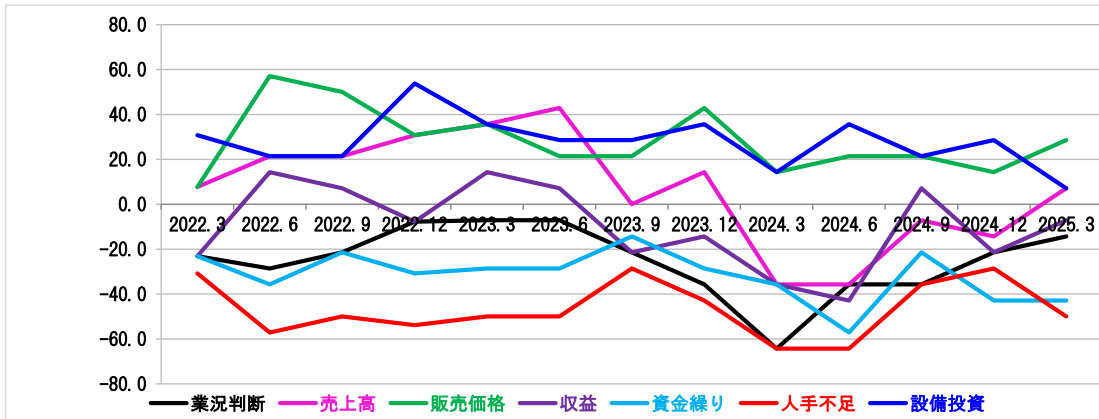


区分	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3
全業種	28.8	29.5	41.0	47.5	41.0	37.7	38.3	49.2	37.7	45.9	29.5	41.0	30.5
製造業	30.8	21.4	21.4	53.8	35.7	28.6	28.6	35.7	14.3	35.7	21.4	28.6	7.1
卸売業	40.0	30.0	20.0	40.0	40.0	30.0	60.0	50.0	30.0	50.0	20.0	60.0	33.3
小売業	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	22.2	30.0	30.0	20.0	0.0	20.0	10.0
サービス業	23.1	57.1	71.4	50.0	64.3	57.1	50.0	57.1	57.1	71.4	50.0	64.3	46.2
建設業	38.9	23.1	53.8	66.7	46.2	38.9	30.8	69.2	53.8	46.2	46.2	30.8	53.8

※ 不動産業は、調査対象外である。

業種別時系列表

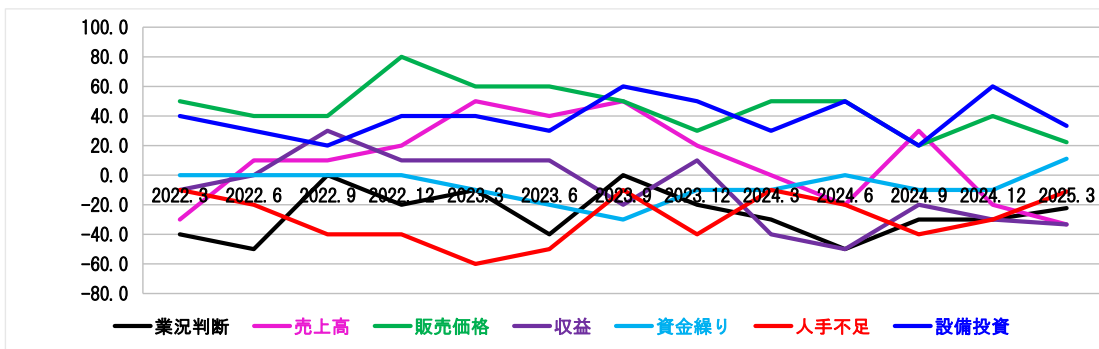
製造業



区分	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6
業況判断	-23.1	-28.6	-21.4	-7.7	-7.1	-7.1	-21.4	-35.7	-64.3	-35.7	-35.7	-21.4	-14.3	-42.9
売上高	7.7	21.4	21.4	30.8	35.7	42.9	0.0	14.3	-35.7	-35.7	-7.1	-14.3	7.1	
販売価格	7.7	57.1	50.0	30.8	35.7	21.4	21.4	42.9	14.3	21.4	21.4	14.3	28.6	
収益	-23.1	14.3	7.1	-7.7	14.3	7.1	-21.4	-14.3	-35.7	-42.9	7.1	-21.4	-7.1	
資金繰り	-23.1	-35.7	-21.4	-30.8	-28.6	-28.6	-14.3	-28.6	-35.7	-57.1	-21.4	-42.9	-42.9	
人手不足	-30.8	-57.1	-50.0	-53.8	-50.0	-50.0	-28.6	-42.9	-64.3	-64.3	-35.7	-28.6	-50.0	
設備投資	30.8	21.4	21.4	53.8	35.7	28.6	28.6	35.7	14.3	35.7	21.4	28.6	7.1	

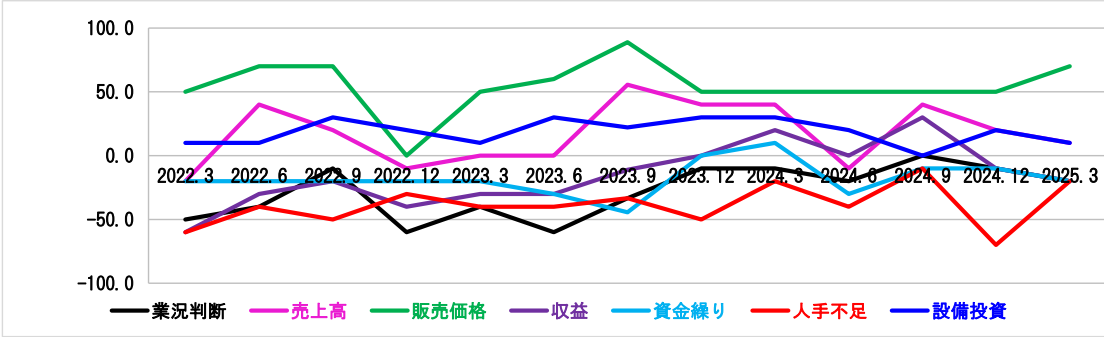
※ 2025.3は、見通しである。

卸売業



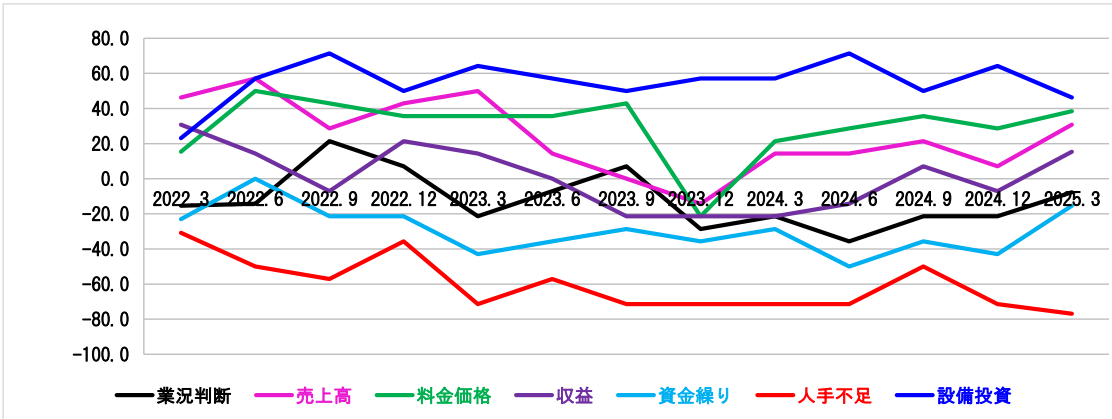
区分	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6
業況判断	-40.0	-50.0	0.0	-20.0	-10.0	-40.0	0.0	-20.0	-30.0	-50.0	-30.0	-30.0	-22.2	0.0
売上高	-30.0	10.0	10.0	20.0	50.0	40.0	50.0	20.0	0.0	-20.0	30.0	-20.0	-33.3	
販売価格	50.0	40.0	40.0	80.0	60.0	60.0	50.0	30.0	50.0	50.0	20.0	40.0	22.2	
収益	-10.0	0.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-20.0	10.0	-40.0	-50.0	-20.0	-30.0	-33.3	
資金繰り	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	0.0	-10.0	-10.0	11.1	
人手不足	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-60.0	-50.0	-10.0	-40.0	-10.0	-20.0	-40.0	-30.0	-11.1	
設備投資	40.0	30.0	20.0	40.0	40.0	30.0	60.0	50.0	30.0	50.0	20.0	60.0	33.3	

小売業



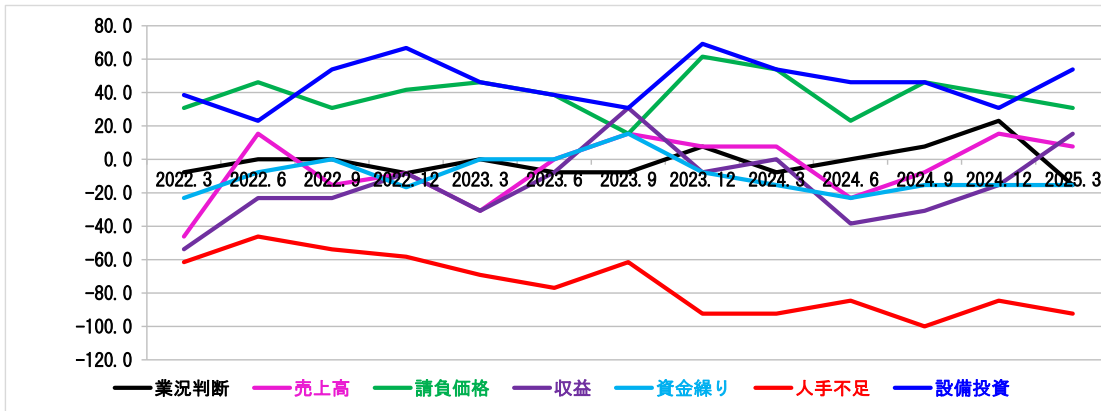
区分	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6
業況判断	-50.0	-40.0	-10.0	-60.0	-40.0	-60.0	-33.3	-10.0	-10.0	-20.0	0.0	-10.0	-20.0	-40.0
売上高	-20.0	40.0	20.0	-10.0	0.0	0.0	55.6	40.0	40.0	-10.0	40.0	20.0	10.0	
販売価格	50.0	70.0	70.0	0.0	50.0	60.0	88.9	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	70.0	
収益	-60.0	-30.0	-20.0	-40.0	-30.0	-30.0	-11.1	0.0	20.0	0.0	30.0	-10.0	-20.0	
資金繰り	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-30.0	-44.4	0.0	10.0	-30.0	-10.0	-10.0	-20.0	
人手不足	-60.0	-40.0	-50.0	-30.0	-40.0	-40.0	-33.3	-50.0	-20.0	-40.0	-10.0	-70.0	-20.0	
設備投資	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	22.2	30.0	30.0	20.0	0.0	20.0	10.0	

サービス業



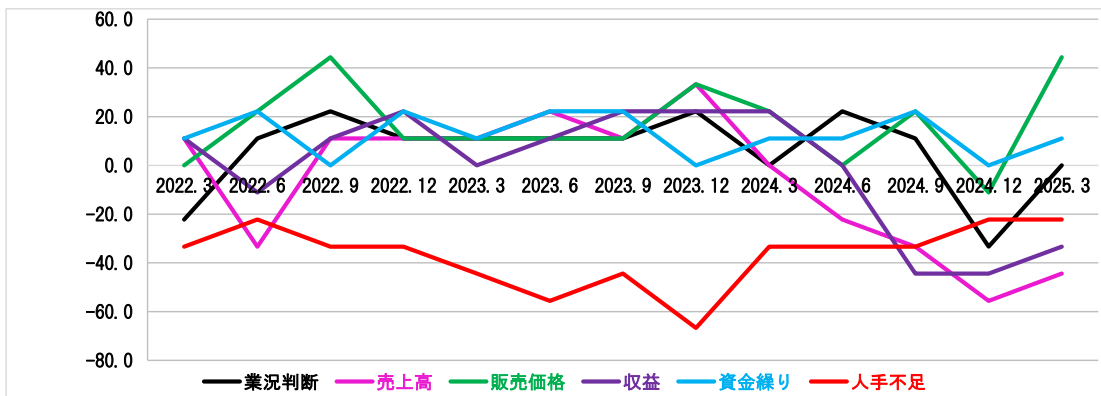
区分	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6
業況判断	-15.4	-14.3	21.4	7.1	-21.4	-7.1	7.1	-28.6	-21.4	-35.7	-21.4	-21.4	-7.7	-46.2
売上高	46.7	57.1	28.6	42.9	50.0	14.3	0.0	-14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	30.9	
料金価格	15.4	50.0	42.9	35.7	35.7	35.7	42.9	-21.4	21.4	28.6	35.7	28.6	38.5	
収益	30.8	14.3	-7.1	21.4	14.3	0.0	-21.4	-21.4	-21.4	-14.3	7.1	-7.1	15.4	
資金繰り	-23.1	0.0	-21.4	-21.4	-42.9	-35.7	-28.6	-35.7	-28.6	-50.0	-35.7	-42.9	-15.4	
人手不足	-30.8	-50.0	-57.1	-35.7	-71.4	-57.1	-71.4	-71.4	-71.4	-71.4	-50.0	-71.4	-76.9	
設備投資	23.1	57.1	71.4	50.0	64.3	57.1	50.0	57.1	57.1	71.4	50.0	64.3	46.2	

建設業



区分	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6
業況判断	-7.7	0.0	0.0	-8.3	0.0	-7.7	-7.7	7.7	-7.7	0.0	7.7	23.1	-15.4	-15.4
売上高	-46.2	15.4	-15.4	-8.3	-30.8	0.0	15.4	7.7	7.7	-23.1	-7.7	15.4	7.7	
請負価格	30.8	46.2	30.8	41.7	46.2	38.5	15.4	61.5	53.8	23.1	46.2	38.5	30.8	
収益	-53.8	-23.1	-23.1	-8.3	-30.8	-7.7	30.8	-7.7	0.0	-38.5	-30.8	-15.4	15.4	
資金繰り	-23.1	-7.7	0.0	-16.7	0.0	0.0	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-15.4	-15.4	-15.4	
人手不足	-61.5	-46.2	-53.8	-58.3	-69.2	-76.9	-61.5	-92.3	-92.3	-84.6	-100.0	-84.6	-92.3	
設備投資	38.5	23.1	53.8	66.7	46.2	38.5	30.8	69.2	53.8	46.2	46.2	30.8	53.8	

不動産業



区分	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6
業況判断	-22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	-33.3	0.0	-11.1
売上高	11.1	-33.3	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0	-22.2	-33.3	-55.6	-44.4	
販売価格	0.0	22.2	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3	22.2	0.0	22.2	-11.1	44.4	
収益	11.1	-11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2	22.2	22.2	0.0	-44.4	-44.4	-33.3	
資金繰り	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	
人手不足	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-44.4	-55.6	-44.4	-66.7	-33.3	-33.3	-33.3	-22.2	-22.2	

※ 設備投資は、調査対象外である。

外国人・海外情勢と中小企業 ※抜粋

外国人との接触機会・外国とのビジネスチャンスを増やす意向

項目		全国	南房総	コロナ前と比較した外国人との接触機会については、「同水準」「わからない」がそれぞれ大きな割合を占め、全国、南房総と同程度の割合となった。 外国向けのビジネスチャンスを今後増やす意向があるかについては、「大いにある」は全国・南房総ともに6.1%であったが、「どちらかというたない」「まったくない」の合計値は、全国が43.0%に対し南房総が50.0%と上回った。 従業員規模別にみると、規模の大きな企業ほどビジネスチャンスを増やす意向について積極的な回答が多い傾向にあった。
外国人との接触機会	コロナ前を上回っている	14.6%	11.9%	
	コロナ前とほぼ同水準	35.5%	29.9%	
	コロナ前を下回っている	4.3%	7.5%	
	わからない	45.6%	50.7%	
ビジネスチャンスを増やす意向	大いにある	6.1%	6.1%	
	どちらかというたある	23.7%	18.2%	
	どちらかというたない	25.4%	30.3%	
	まったくない	17.6%	19.7%	
	わからない	27.2%	25.7%	

外国人の雇用について

項目		全国	南房総	外国人の雇用の有無については、雇用している企業が全国で19.1%となり、前回調査(2020年3月調査、13.0%)と比較して6.1%上昇した。南房総においては雇用している企業が25.7%と全国を上回っている。 雇用している企業における、全体に占める外国人比率は「10%未満」が全国11.6%、南房総19.7%と全体の半分以上を占めた。 雇用していない企業における雇用していない理由については、「人手が充足しており必要ない」が全国・南房総ともに最も多く、「雇用の方法が分からない、行政手続きの負担が重い」については、全国5.7%、南房総は0.0%となっており、外国人の雇用方法や手続きについては周知されている状況がうかがえる。
外国人労働者を雇用している	50%以上	0.6%	1.5%	
	40%～50%	0.7%	0.0%	
	30%～40%	1.0%	1.5%	
	20%～30%	1.7%	1.5%	
	10%～20%	3.6%	1.5%	
	10%未満	11.6%	19.7%	
外国人労働者を雇用していない	人手が充足しており必要ない	35.3%	34.9%	
	受入負担(就労環境整備、育成コスト等)が重い	17.0%	21.2%	
	雇用の方法が分からない、行政手続きの負担が重い	5.7%	0.0%	
	コミュニケーションなどで心配がある	22.8%	18.2%	

外国向けの売上

項目	全国	南房総	項目	全国	南房総	外国向けの売上(外国人旅行者も含む)の有無については、全国23.3%に対し南房総34.8%となった。 従業員規模別でみると規模が大きな企業ほど外国向けの売上がある比率が高くなっている。
50%以上	0.7%	1.5%	10%～20%	3.6%	0.0%	
40%～50%	0.7%	0.0%	10%未満	15.7%	30.3%	
30%～40%	1.0%	1.5%	売上はない	76.7%	65.2%	
20%～30%	1.6%	1.5%				

<調査の概要>

- ①調査時点: 令和7年(2025年)3月3日～7日
- ②調査方法: 当金庫による面接聞き取り方式、または対象企業先による直接記入方式。
 なお、全国および千葉県は信金中央金庫地域・中小企業研究所の調査による。
- ③分析方法: 各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心に分析。
- ④調査地域: 当金庫の調査地域(南房総地域)は、千葉県館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町の3市1町。
- ⑤対象企業: 全国の信用金庫の取引先で、特に回答企業のうち従業員20名未満の企業が7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体。
- ⑥標本数: 全国14,728企業(有効回答数12,817企業・回答率87.0%)
 千葉県321企業(有効回答数303企業・回答率94.4%)
 南房総地域 70企業(有効回答数68企業・回答率97.1%)

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。

「たてしん」近況のご報告

フードバンク千葉



災害に備えて備蓄している食料品を、館山市社会福祉協議会を通してフードバンク千葉に寄贈しました。フードロス削減に繋げるSDGs活動の一環として行っています。

フードバンク千葉では、包装の破損や賞味期限が近づいたなどの理由で、品質には問題ないが、廃棄されてしまう食材・食品を、企業や個人から引き取り、必要としている施設や団体、生活困窮者へ無償で提供しています。

第44回信用金庫PRコンクール



信用金庫のイメージアップや知名度アップなどを目的に実施される「第44回信用金庫PRコンクール」(関東信用金庫協会主催)にて、『令和7年 南総里見八犬伝錦絵カレンダー2025』がカレンダー部門で**最優秀賞**、『里見の日AIポスター』がポスター部門で**入賞**を果たしました。

当金庫は、地域貢献事業として「里見の日」の記念日登録料を寄付し、「里見のまちづくり」を応援しています。

第1期たてしん経営塾in上総 第6期たてしん経営塾 修了式



1月21日、「第1期たてしん経営塾in上総」の修了式を木更津商工会議所で開催し、**26名**が修了しました。

「第1期たてしん経営塾in上総」は、今年度から新たに上総地域でも開講したもので、同地域を中心とした経営者らが参加し、経営のステップアップや仲間づくりをテーマに、講義やグループディスカッションなど全5回の講義を行いました。

3月12日、「第6期たてしん経営塾」の修了式を当金庫本店で開催し、約2年間の講義を終えた、**29名**が修了しました。

第6期は、2023年5月に開講。㈱タナベコンサルティングのコンサルタントを講師にお呼びし、経営全般やブランディング、財務戦略、営業のデジタル化、ビジョン策定など全10回の講義を行いました。

第9期大学生モニター委嘱式



3月14日、地域の企業、個人で組織する「房創人財育英基金」の大学生モニター制度にて9期生のモニター委嘱式を当金庫本店で開催しました。

春から大学生となる安房地域3高校出身の学生5人が来年度の委嘱を受け、令和7(2025)年度のモニター生は**21人**となりました。また、今春大学卒業の4期生5人に感謝状を贈りました。

委嘱式後には、モニター生によるレポート発表や房創人財育英基金の会員らと意見交換も行いました。

第8回平砂浦海岸植樹事業



3月15日、館山市平砂浦海岸で役員・職員総勢41人がボランティアで植樹活動を行いました。

平砂浦海岸は「日本の白砂青松100選」に選ばれていますが、近年は松枯れが深刻化して更地になった場所も目立ち、飛び砂も問題になっています。

当金庫は、地域の豊かな自然環境を守ることをテーマの1つに掲げ、植樹活動を創立90周年事業として始めて今年で8回目を迎えました。今回はクロマツなど計**200本**を植え、8年間の合計で**1,600本**となりました。

新小学1年生入学祝い品贈呈



安房地域の新小学1年生への入学祝い品として文房具セットを安房3市1町の教育委員会に寄贈しました。

地域密着の金融機関として地域の子もたちに少しでも支援ができればと思い、今年度で3年目となります。

今回はクリアファイル1枚と下敷き1枚、鉛筆2本、定規1本のセットを**新小学1年生550人**に贈りました。

また、クリアファイルのデザインは、安房地域内の地図となっています。

たてしん 経営塾

塾生募集

南房総
エリア
第7期

上総
エリア
第2期

リピーター歓迎!

さらに『自分ごと』として捉えられる2年間のプログラムに刷新した「たてしん経営塾」が南房総エリアと上総エリアで同時開講！
千葉県中小企業診断士協会の経験豊富な専門家と館山信用金庫が貴社のレベルアップを応援します！

予定プログラム

基本タイムスケジュール 集合13:45 講義14:00～17:00

年回	日時	タイトル	実践ワーク
1 年 目	1 2025年5月	経営者としての心構えと事業の再構築	交流のきっかけになる自己紹介・他己紹介
	2 // 7月	財務分析&外部環境分析の知識	自社商圏での市場規模を確認する
	3 // 9月	自社の「強み」の棚卸し	みんなで考える「本当の強み」とは？
	4 // 11月	自社プレゼンテーション	プレゼンテーションのコツを学ぶワーク
	5 2026年2月	令和の売上拡大マーケティング術	あなたが顧客だったらどんなアドバイスをしますか？
2 年 目	6 // 5月	最新トレンドを抑えた生成AI活用術	生成AIについて皆で話してみよう
	7 // 7月	省力化・自動化を進めるDXとは	ムダ、ムラとなっている作業を考えてみる
	8 // 9月	新規採用・人材育成などの人事戦略	こんな人を採用したい！自社が求める人物像は？
	9 // 11月	事業計画の策定・金融機関との関わり方	金融機関担当者へのロープレ演習
	10 2027年2月	事業計画の作成ワーク	事業計画の発表に向けたブラッシュアップ
	11 // 3月	事業計画の発表	事業計画の発表と評価

※テーマ・スケジュール等、変更する場合がございます。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

千葉県中小企業診断士協会とは

千葉県の中小企業の発展のため日々活動する中小企業診断士を会員とした経営支援の専門家集団です。講義ごとに各テーマに精通した講師が対応し、地域の実情に合わせた事例やニーズの高い情報を提供します。

●実施要項

対象者：経営者・後継予定者・経営幹部・after創業期の事業者 等
開講時期：2025年5月～2027年3月 定員：各30名
南房総エリア会場：館山信用金庫 本店会議室
上総エリア会場：木更津市中央公民館（予定）
受講料：77,000円(税込)

千葉県中小企業診断士協会HP

詳しいパンフレットは館山信用金庫営業店へお申し付けください。
また、館山信用金庫HPでもご覧いただけます→→→→→→→→

お問合せ・申込み：館山信用金庫 支援部 TEL:0470-29-3015